

# 藤棚新聞



第64号  
2019年(平成31年)  
2月20日  
偶数月発行  
フリーペーパー

## 商店街と港の歴史的なつながり

藤棚地区の商店街に新しいかたちのお店ができてはじめてきています。日本一小さいといわれる映画館、は虫類を販売するお店、料理教室やコミュニティ活動のスペースを提供するお店や大都会のようなしゃれた店構えのキャンプ用品を販売するお店など。一方、港には海港都市横浜を昔から支えてきたたくさんの会社があります。かつての横浜船渠の1号ドックでは現在係留している帆船日本丸の大規模修繕工事を進めています。商店街と港の歴史的なつながりを振り返って、次の時代の新しい姿を模索します。

### 新しい息吹を感じる商店街

安政6年(1859年)横浜港の開港で保土ヶ谷道沿いの往来が増えて、これがのちに約1kmのショッピングストリートを形成する今の久保町から西前町まで続く商店街となりました。

明治20年(1887年)イギリス人技師H.S.パーマーの設計による近代水道が、相模原から野毛までの44キロに敷設されました。

大正2年(1913年)路面電車が開通することにより店ができました。当時は農耕地がほとんどで林と畑とたんぼの中に小川のせせらぎが聞こえて、蛙の音がにぎやかだったそうです。人びとは停留場の脇にあった茶屋、鈴木屋の軒先に藤棚があったのでこの辺りを藤棚と呼んだことより、市電の停留場名は藤棚停留場となりました。

昭和3年(1928年)9月1日に、字横枕などの町が一緒になって藤棚町が誕生しました。

昭和19年(1944年)4月1日に、西区は中区から独立して誕生しました。(2面に続く)



キャンプ用品のお店  
DEVICE WORKS

## 気になるお店シリーズ

(ヨンマルゴ)

### コーヒー専門のお店405 COFFEE ROASTERS



中央商店会にある西前日用品市場の一角にコーヒー販売店405 COFFEE ROASTERSが昨年10月オープンしました。店主の松浦さんは、コーヒー豆の商品開発に長年携わった経験を活かし、中南米やアフリカといった世界各国から優れたコーヒー豆20種類を選び抜き、日本では当店しかないという焙煎機を使い、温度の管理、時間を調整しながら焼いています。「豆の個性を引き出すのに神経を使います」と松浦さん。

以前は世田谷で店を開いていましたが、ここの商店街の中にコーヒー販売店がなかったことが開店の理由の一つです。以前からのお客さんがわざわざ遠くからきてくれたり、開店祝いに市場の皆さんから胡蝶蘭をいただいたのが後押しとなってとてもうれしい様子です。ネット通販やレストランやカフェにも販売しているほか、店頭で購入すると「ハンドドリップで好きなコーヒーを一杯サービスします」とサービス精神を怠りません。

西区中央2-24-6 西前日用品市場内 080-1045-0251

10:00~19:00 日曜、第2第4月曜休み

藤棚地区から戸部大通り、岩亀横町周辺には港で働く多くの人びとが住みました。藤棚一番街の「三河屋かみや」の一ノ瀬結花さんは「酒屋ではノーブランドの清酒を調合して量り売り。工員相手の『カブト』と呼ばれる立ち飲みが大層繁盛しました。味噌や醤油、塩も容器持参の量り売りでした」と言います。昭和30年代には、映画館、パチンコ店や銭湯はいくつもあって惣菜屋も繁盛し、うぐいす嬢による有線放送が流れたり、オート三輪にベニヤの看板を張った宣伝カーが走行していたという様子が目に浮かびます。

## 黒船を見てきた港

明治8年(1875年)郵便汽船三菱会社が三菱製鉄を設立。

明治24年(1891年)「有限責任横浜船渠会社」が設立。

明治26年(1893年)「有限責任横浜船渠会社」の社名を「横浜船渠株式会社」としました。

明治29年(1896年)～明治31年(1898年)船舶修理用の第2ドックと第1ドックを建設。

明治43年(1910年)3号ドック(コンクリート製)を建設。

大正3年(1914年)～大正7年(1918年)第一次世界大戦の好景気を受けて、従業員の数は横浜船渠3000人以上、内田造船所2000人に及びました。

昭和10年(1935年)横浜船渠が、三菱重工業に吸収合併されて三菱重工業株式会社横浜船渠となりました。昭和18年(1943年)三菱重工業株式会社横浜造船所と改称して、横浜船渠の名称が消えました。

昭和27年では造船関連会社が多く、街にはまだ活気がありました。



ドックヤードガーデン  
(旧第2ドック)

岩亀横町(戸部町5丁目)に「割烹岩亀本店」を構えた内田康夫さんは、「朝は造船所に向かう人たちの下駄や雪駄の音、昼にはポーっという汽笛の音が響き、日常生活に造船所が密着していました」と言います。

昭和57年(1982年)横浜船渠は93年の歴史に幕を閉じました。高島町交差点から続く東急東横線高架跡に、「みつびしどっく踏切」と書かれた看板のある小さな踏切があります。かつて横浜造船所への入口となっていた旧三菱正門跡です。今では、西区の旧市街と新市街をつなぐ道となっています。

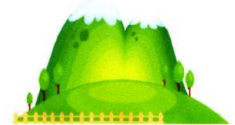
昭和58年(1983年)跡地は横浜みなとみらい21として再開発されました。藤棚の商店街では「街歩き空き店舗ツアー」が開催されて、新しい店が生れつつあります。すべては歴史に学べといます。これからも街と港は手を携えていくことでしょう。《4ページに関連記事》

《参照》「西区大好き!魅力再発見」温故知新魅力アップ事業実行委員会

## 昔と今

### 羽沢辺り

水道道の尻こすり坂を下りてすぐ左に入ったこの細い通りには、かつては小さな居酒屋や、総菜を売る店そして銭湯があり、



昔懐かしい街の佇まいが残っていました。今はそのお店もなくなり、アパートや駐車場になり、場所によっては変貌を遂げたみなとみらいのランドマークタワー等の高層建築を見ることができます。



## 消防署発祥の地 「西消防署」は今年で創設 100 周年を迎えます！

私たちが暮らす街を、火災などの災害から守るために活動をしている横浜市西消防署。そんな西消防署は、2019年9月に創立100周年を迎えます。

西消防署の前身は、1919(大正8)年に創設された「第一消防署」。政府による「特設消防署規定」が制定されたのを受け、同年9月に全国に先駆け、神奈川県下に「第一消防署」と「第二消防署(現在の中消防署)」が設置されました。

初代庁舎は関東大震災にて焼失しましたが、二代目庁舎は耐火建築となり、戦火にも耐え抜いたそうです。その後、昭和23年に横浜市消防局が発足し、現在の「西消防署」になりました。現在の庁舎は三代目で、昭和52年に竣工しています。

### 創設 100 周年の取り組み



昨年5月、西消防署の敷地内に「消防署発祥の地」の碑が建てられました。西消防署は、100年の歴史を持つ古い消防署であると同時に、移転や統廃合をすることなく当地に残る、国内で唯一の消防署だそうです。記念碑は、国道1号線の歩道に面した場所にあり、通行人も見ることができます。



また昨年は、記念誌として「横浜市西消防署 100年のあゆみ」を刊行しました。西消防署内では写真展示も行われています。関東大震災や戦災を乗り越え、100年同じ場所で西区の街を守り続けてきた西消防署。そんな身近にある地元の消防の歴史を、今一度感じてみてはいかかでしょうか。

横浜市西消防署 住所：戸部本町50-11

## こんにちは ぐるーぷ! 「にしくシティガイドグループ」

### ～さくらフェスタ2019でデビュー～



にしくシティガイドグループのみなさん

「ずっと西区にいる人も、初めて西区に来た人も、西区が大好きな1ピースになる」そんな、にしくシティガイドグループでありたいですね。詳細は、西区地域振興課ホームページ(3月の広報西区版)参照。

西区役所主催の『まち歩きガイド養成講座』の修了生有志による、にしくシティガイドグループが誕生しました。

みなとみらいで開催される『さくらフェスタ2019』(会期：3月23日～31日)の、パレードがある3月30日(土)にデビューです。ガイドのコースは海コース2、山コース1の3コースです。当日は、先着順に各コース10名をガイドします。

## ふじなちゃんの散歩道

ぶらり藤棚周辺を歩いていると、気になるカフェがあります。窓ガラスいっぱいに横浜港を描いているピクチャーウィンドウです。下書きなしに約一時間で描き上げるそうです。



## 西区 街の名人・達人まつり



2月23日(土)10時から、「西区 街の名人・達人まつり」が藤棚地区センターで開催されます。

### <会員によるイベント>

いけばな、折紙、音楽コンサート、音訳ボランティア、カントリー&ウエスタンの演奏、ジャグリングショー、社交ダンス、写真、水墨画、太極拳、トールペイント、似顔絵、ハンドペイント、フラワーアレンジメント、ペンシルバルーンマジック、民謡演奏、1歳～3歳のリトミック、和太鼓、精神保健ボランティア、遺言・

相続・成年後見等、紙芝居・昔遊び

### <ゲスト参加ほか>

演目披露/杉の子幼稚園他5団体、模擬店・フリーマーケット出店/今井かまぼこ他8団体、その他/にしとも広場他4団体

主催：西区名・達の会、共催：藤棚地区センター、後援：西区役所

### 《1 ページの関連記事》

桜木町の横浜みなと博物館で、企画展「横浜船渠 ドック物語」が開催されています。

2月2日(土)～3月24日(日) 休館日は月曜日、開館時間は10時～17時。

### <学芸員による展示解説>

2月9日、3月2、16日の11:00、14:00

### ●企画展 「横浜船渠 ドック物語」

記念講演会『横浜船渠の1, 2号ドック』

3月3日(日) 14:00～16:00

日本丸訓練センター

講師：青木祐介氏

(横浜都市発展記念館副館長)

申込締切：2月23日(土)(必着)

TEL 045-221-0280 FAX 045-221-0277

<http://www.nippon-maru.or.jp/>

## 最高に美味しいコーヒーを。

100g 650円～(税込)  
ご購入で1杯サービス!



自家焙煎コーヒー豆専門店  
405 COFFEE ROASTERS

神奈川県横浜市西区中央2-24-6

[西前日用品市場内]

OPEN 10:00-19:00

CLOSE 日曜、第2・第4月曜

☎405\_coffee\_roasters

## 地元で35年！親身な指導！

- 起業・会社設立
- 決算・申告・記帳代行
- 相続・贈与・事業承継

相談  
無料

## 寺田会計事務所

公認会計士 寺田誠一 西区中央2-13-2

伊勢新ビル2F

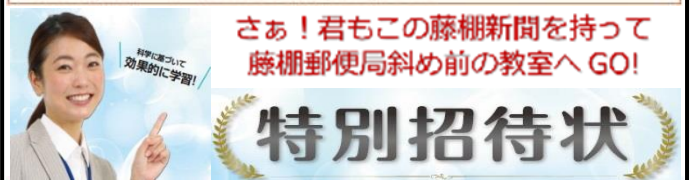
税理士 寺田悟史 ☎324-0510

検索 寺田会計事務所 横浜

小学1年生～高校3年生対象 入室テストはありません

## 80分無料体験授業 実施中!

まずは京進スクール・ワンのよさを実感してください。※小学1～3年生は40分授業です。



さあ！君もこの藤棚新聞を持って  
藤棚郵便局斜め前の教室へGO!

## 特別招待状

個別指導京進スクール・ワン 小学1年生から高校3年生「全科目対応」

戸部藤棚教室 TEL 045-594-7326

藤棚新聞ではただいま広告を募集中です。いっしょに活動してくれるボランティアも募集しています。

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷 2-54-C 801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】[fujidananp@jcom.zaq.ne.jp](mailto:fujidananp@jcom.zaq.ne.jp)

【ホームページ】<https://fujidananews.jimdofree.com/>